



2019年5月10日

各位

会社名 日精樹脂工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 依田 穂積
(コード：6293 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 荻原 英俊
(TEL 0268-82-3000)

第三次中期経営計画（2019年度～2021年度）の策定に関するお知らせ

当社グループは、2019年度（2020年3月期）を初年度とした3カ年の第三次中期経営計画を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 第三次中期経営計画の策定背景

当社グループが製造、販売するプラスチック射出成形機は、自動車、IT、医療容器等の幅広い業種・業界に深く関わる製品で、人々の社会生活を支える上で欠かせないものであります。今後は、自動車産業の変革、5G通信等のデジタルインフラの整備・普及、海洋プラスチック問題に象徴される環境課題への対応など、当社グループの製品の関わりが重要性を増していくことにより、更なる需要の拡大に繋がることが予想されます。

2016年度を初年度とした3カ年の第二次中期経営計画においては、当社が目指す姿として「真のグローバル化と真のイノベーションのシナジー効果により、10年後を見据えた積極的な体制作りを行う」という方針のもと、真のグローバル経営の強化、グローバル市場への積極的展開による販売増強、グローバル生産体制の強化、グローバルリスク管理体制の強化、を進めてまいりました。

その結果、次のような主要な成果をあげることができました。

- ・プロダクト戦略では、米国テキサス工場の竣工により、世界4極生産体制が確立し、グローバル市場において最適機種を最適地で生産することが可能となり、各生産拠点からの安定供給の礎を固めてまいりました。また、海外工場での部材の現地調達率拡大、本社工場での部品加工の内製化推進等により、サプライチェーンの強化、生産の効率化、コストダウン等を推進してまいりました。

- ・セールス戦略では、日本国内をはじめ、メキシコや東欧など世界の主要市場において営業・サービス拠点を開設したほか、国内外で商社や代理店を活用するなど営業体制の強化を図ってまいりました。

・商品戦略では、射出成形機に金型・周辺機器を含めたターンキーシステムの販売に加え、工場レイアウトの提案や自動化システムの設計等のコンサルティング営業を強化してまいりました。また、自動車、IT、医療・容器等の業界に向けて特殊機・専用機を市場投入し、成形ノウハウや金型技術を活かした付加価値の高いソリューション提案を行い、シェア拡大を図ってまいりました。

第三次中期経営計画では、長期的な観点からの成長戦略や業績目標を見据えて策定に取り組んでいる経営目標「フューチャーデザイン 2026」の達成に向け、確固たる体制づくりを行い、当社グループの企業価値の向上を図ることを目的として策定しております。

2. 数値計画

	2019年3月期実績	2020年3月期計画	2022年3月期計画
連結売上高	44,065百万円	44,500百万円	50,000百万円
連結営業利益	3,510百万円	3,600百万円	4,000百万円
連結営業利益率	8.0%	8.1%	8.0%

概要につきましては、添付資料をご参照ください。

※ 本資料に記載されている中期経営計画等の将来に関する記述等については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

【2019年度～2021年度】 中期経営計画について

NISSEI
D

日精樹脂工業株式会社

2019年5月10日

射出成形機業界の動向

- ✓ 足元の設備投資マインドの減退（中国景気減退に対する様子見）
- ✓ 部材調達難
- ✓ 部品加工先の逼迫
- ✓ 競合メーカーの戦略の相似化（競争激化）、価格競争の激化
- ✓ 新興国メーカーの台頭

社会・経済構造の変化、社会の要請

- ✓ 持続可能な社会の実現に向けた企業の取り組み
- ✓ 使い捨てプラの使用禁止（環境規制の強化）、海洋プラスチック問題への対策（グリーンプラの普及推進）
- ✓ 働き方改革
- ✓ ダイバーシティの推進、女性活躍推進
- ✓ 少子高齢化への対応

業種別動向

- ✓ 自動車産業の変革（自動運転対応の技術開発、EVシフト等）
- ✓ 電子部品の車載シフト
- ✓ デジタルインフラの整備・普及（5G通信、ビッグデータの活用）
- ✓ IoT化、ロボット化の進展、AI技術の進化
- ✓ 東京オリンピックに向けた設備需要の持続（住設関連、日用雑貨）
- ✓ 医療、容器業界の安定推移

世界経済のリスク

- ✓ 為替相場の急激な変動
- ✓ 保護主義の台頭による貿易の停滞（米中貿易摩擦）
- ✓ 英国のEU離脱
- ✓ 新興国の金融リスク（通貨下落による成長の減退）
- ✓ 新興国での人件費の高騰
- ✓ 地政学リスク

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営体制の強化

- 連結経営機能を更に強化し、グローバル経営を実践する。
- キャッシュフロー経営を重視し、収益力を更に強化する。
- パートナー企業とのサプライチェーンを強化する。

2. お客様満足度の充実

- グローバルネットワークにより、お客様の満足度充実を図り、企業価値を高める。

3. 環境経営の強化

- グローバル環境経営への対応を図り、省資源・省エネルギー等に配慮した取組みを強化する。

4. グローバル人材の育成と活用

- グローバル人材の育成と活用を図る。
- 社員の働きがいを充実させ、グローバル企業としての価値を高める。

本3ヵ年(2019年度～2021年度)は、
グローバル経営を進化させ、
グローバル環境への対応を図り、
「フューチャーデザイン2026」※の
達成に向けた体制づくりを行う。

※「フューチャーデザイン2026」:長期的な観点から成長戦略や業績目標を見据え、
取組みを進めている経営目標

1. 真のグローバル経営の強化

- 世界規模で進展する市場変化のなかで、環境経営を強化し、高収益企業としてグローバルな展開を図り、自力成長力を強化する

3. グローバル生産体制の強化

- 4極生産体制により生産能力を増強すると共に、生産技術力と品質保証体制を強化する
- グローバル調達体制の強化と、内製化の推進により更なるコストダウンを図る

経営方針

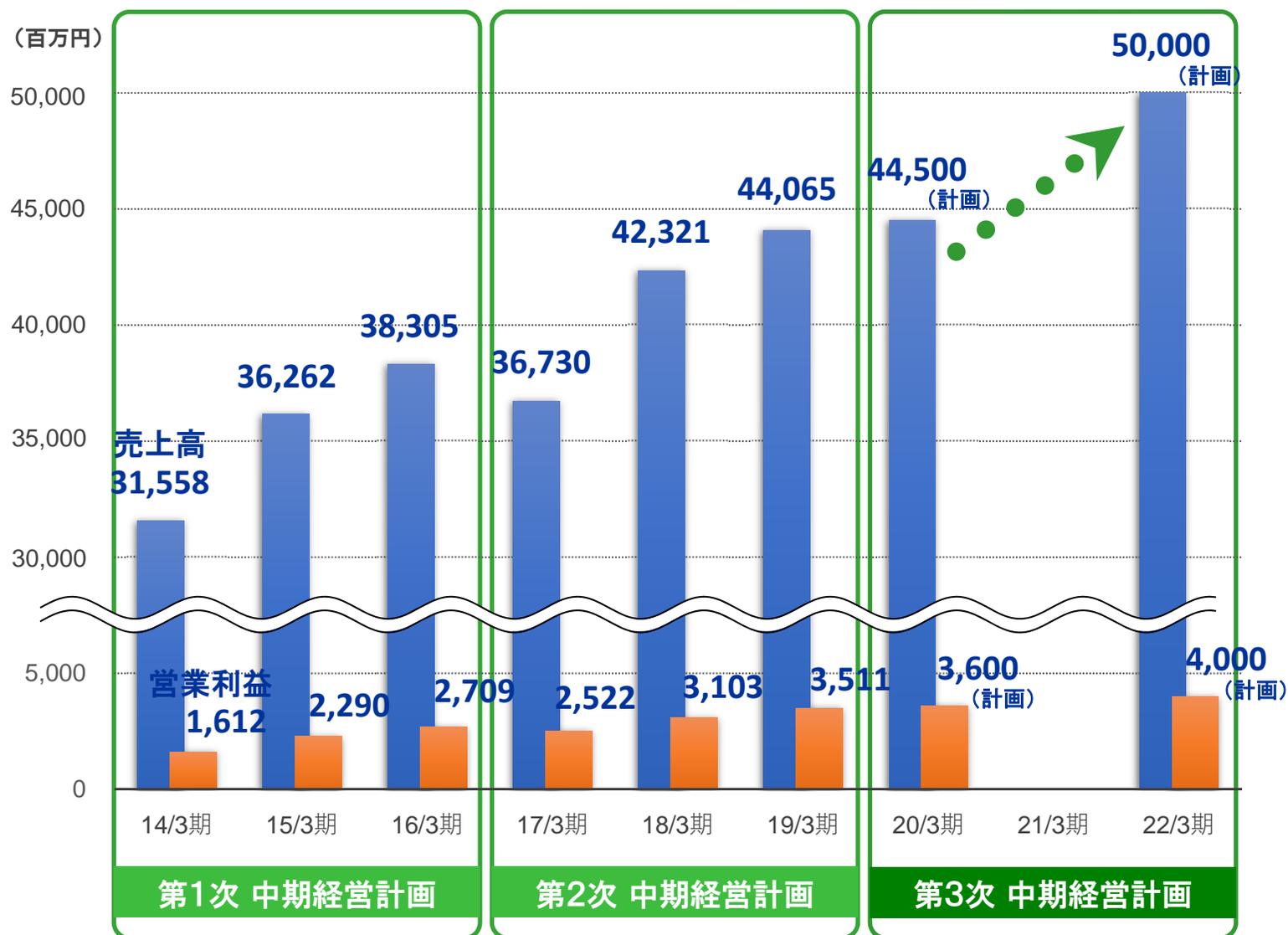
2. グローバル市場への積極的展開による営業強化

- 営業力の強化と新たなビジネスモデルの創出により売上増大を図る
- 革新的な営業戦略により、お客様にご満足頂ける提案型営業を行うとともに、ボーダレス化、IoT化に呼応して、グローバル市場への積極的な展開を図る
- 持続可能な開発目標(SDGs)、成形の理(ことわり)を具現化する製品を計画的に投入する

4. グローバルリスク管理体制の強化

- リーガルリスクに対応した製・販・財戦略とマネジメント体制を強化する
- コーポレートガバナンス、BCP等に対応したマネジメント体制を強化する
- グローバルに対応できる人材育成を図る

連結売上高・営業利益推移 >>> 数値目標





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
